

もりよしさんろくこうげん
森吉山麓高原



DATA

エリア：国指定森吉山鳥獣保護区
所在地：秋田県北秋田市
着手：H16

森吉山麓高原自然再生協議会

概要：かつて草地として開発された森吉山麓高原を広葉樹林に再生し、周辺の自然環境とともに保全していくことを検討。

設立日：H17.7.19
構成員数：21
全体構想作成日：H18.3.31
実施計画作成日：
● H18.10.20 (森吉山麓高原／秋田県)
(H19.3 現在)



事業箇所内の草地



ブナの優占する落葉広葉樹林やクロベ、スギ、キタゴヨウの優占する常緑針葉樹林が広がる森吉山麓高原周辺は、本州では数少ないクマゲラの繁殖地であり、一部が国指定鳥獣保護区特別保護地区に指定されています。

しかし、昭和40年代から約490haのブナ林が牧草地に改変され、野生動植物の生息・生育域が分断・縮小されました。このため、周辺の森林生態系保護地域や「緑の回廊」と連続する広大な森林を形成し、豊かな自然環境の指標ともいえるクマゲラやそのほかの動物の生息と安定した繁殖に繋げるため、失われたブナを主体とする広葉樹林の再生に向けた取組みを進めています。



凡例	
二次林移行区域	育苗候補地
植栽区域	牧場利用地
環境省敷地・既存施設	事業対象区域

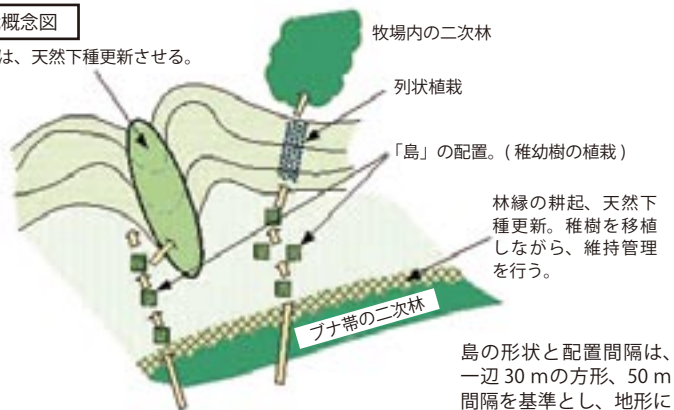
自然再生の手法

- ▶ 植栽可能地への植栽→①
- ▶ 天然下種更新の促進→②

主に植栽可能地において、列状や島状の植栽地を設け、そこにブナなどの植栽を実施します。将来、ブナなどの植栽木が成長して母樹となり、その母樹からの下種更新により樹林の連続性が確保され、それがコリドー（回廊）の役割を果たすことを期待します。

植栽概念図

沢すじは、天然下種更新させる。



関連ホームページ 小動物などの侵入、移動経路

森吉山麓高原自然再生事業：<http://www.pref.akita.lg.jp/mizutomidori/>

① 植栽可能地への植栽

植栽適地判定調査から得られた植栽可能地を対象に、広葉樹を植栽します。

なお、自然再生に用いる苗や種子の採取は、地域遺伝子資源保全の観点から事業地周辺で行います。

② 天然下種更新補助作業

林縁にある樹高の高いブナの母樹周辺で天然下種更新の可能性が高い箇所では、土壌改良材等の散布と耕耘により、鳥や風によって運ばれた種子の発芽と生長に必要な土壌の軟度、土量が確保されるように配慮します。



天然下種更新補助作業

モニタリングによる検証

植栽や天然下種更新補助作業を行っている箇所での活着率・生長量・獣害の有無・発生稚樹の状況などを調査し、また植栽木の枯死が認められた場合は、その原因を特定するよう努める。

植栽や天然下種更新補助作業の成果を評価し、それを基に実施方法の改善と併せ、実施計画の見直しに反映させる。